

光ネットワークにおけるテスト

10Gb/sまでのマルチレート伝送テスト



ご注意

2002年6月13日より、製品のオプション構成が変更されています。
カタログの記載と異なりますので、ご発注の前にご確認をお願いします。



Agilent Technologies

発展する伝送ネットワークのための新しい テスト・ツール

経済性、およびネットワーク帯域幅の需要により、ネットワーク・エレメントは、スイッチング、グルーミング、多重化などの機能を組み合わせた、新しいネットワーク・エレメントの時代へと移行しています。運用コストを最小化するには、明らかに、これらの'次世代'伝送システムのための新しいテスト手法が必要です。

Agilent社は、伝送テストを次の時代へと進め、組織がビジネスの動向やネットワークの発展に遅れをとらないようにするために、ポータブル・テストの新しいファミリ製品を開発してきました。これらのテスト・セットにより、ネットワークのテストに必要な時間が削減され、その結果、サービスの向上はより迅速に行なわれ、顧客のニーズに対する対応はより適切になります。その上、高度な機能と直観的な操作により、スタッフの研修にかかる時間を削減し、利益を生むための時間を増加させることができます。

ますます競争が激しくなるビジネス環境で、最も効果的に活用できるように、テスト・セットは、インストール、受け入れ検査、試験運用、および保守の理想的なソリューションを提供します。つまり、今の市場に必要な、高速で安定したネットワークの提供に有効であるということです。

Agilentでは、変化するお客様のニーズに十分にお応えする、専門的なポータブル・テスト・ツールを提供することをお約束します。

A portrait of Bill Mortimer, a man with dark hair, wearing a white shirt and a dark tie with a pattern of musical notes. He is smiling and looking towards the camera. The background is a soft, out-of-focus light blue.

Bill Mortimer

Bill Mortimer

コミュニケーション・サービス・
ソリューション担当副社長兼
ゼネラル・マネージャ



Agilent Technologies

結果の完全性を損なわないテスト 時間とコストの削減

フィールド・アプリケーションの場合、Agilentの次世代ポータブル・マルチレート伝送テスト・セットは、10Gb/sから64kb/sまでのすべてのアプリケーションに利用できます。さらに、これらのテスト・セットは、全チャネル・テストの最新技術を提供します。

迅速な問題解決、および効果的な試験運用のために、受信したSONETまたはSDHのライン信号で、すべてのSTS/AUチャネル(192まで)を同時に、継続してモニターすることができます。このテスト・レベルは、配備する次世代伝送システムにより提供される、フル・レンジのトラフィック処理機能の評価を行なうために重要です。ルーチンおよび複雑なフィールド・アプリケーションのいずれの場合も、エラーやアラーム、信号品質、およびネットワーク運用パフォーマンスに関連した問題を識別する際に、幅広い追加測定ツールが利用可能です。

マルチレート製品の2つのプラットフォームにより、すべてのライン・レートが2.5Gb/sまで、および10Gb/sまでの場合に適したソリューションが提供されます。いずれのプラットフォームも、SONET、SDH、Tキャリア、およびPDHのテスト・アプリケーションをサポートしています。

その上、これらの新しいテストは、堅牢かつコンパクトであるため、持ち運びに最適で便利です。また、操作が簡単であるため、どのスキル・レベルの技術者でも、自信を持って使用することができます。つまり、測定タスクがどれほど複雑であっても、常に信頼性のある結果を確信できるということです。



製品の2つのプラットフォーム

- 2.5Gb/sまでのマルチレート・テスト(J2126A)
- 10Gb/sまでのマルチレート・テスト(J2127A)

ボタンを押すだけで実行する全チャネルのテスト

Agilent独自のSmartTest機能と、直観的なメニュー・ドリブン方式のグラフィカル・ユーザ・インタフェース(GUI)により、すぐにテストを行なえるようになります。

"SMART TEST"ボタンを押すだけで、選択した場所に、主要な機器のメニュー機能が表示されます。SignalWizard機能を押すと、機器により、ネットワーク・モニタリング・プロセスが完全に自動制御されます。

テスト・セット

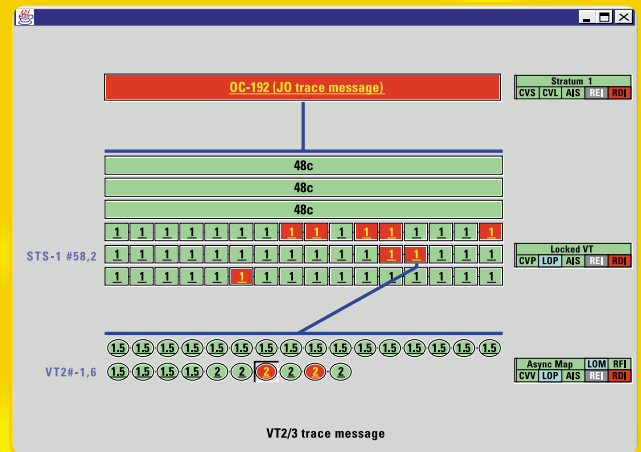
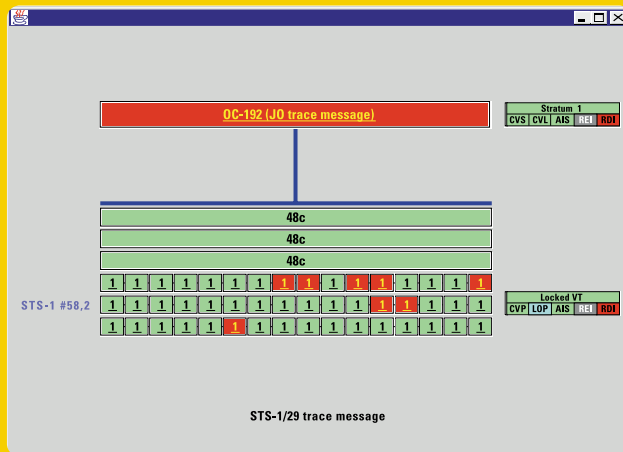
- すべての有効な信号の、ライン・レートとチャネル構成(STSとAUのチャネル・サイズの複合を含む)を検出します。
- 検出したすべてのチャネルで、エラー、アラーム、およびポインタの動作を同時にモニタします。
- 各チャネルで伝送されるトラフィック・タイプを表示します。
- パス・トレース・メッセージをリスト表示および検索するツールを提供し、チャネル・ルーティングの簡単なテストができます。

SignalWizardを利用すると、ほんの数秒で設定および実行ができ、'start'や'stop'と同じようにテストを簡単に行なうことができます。



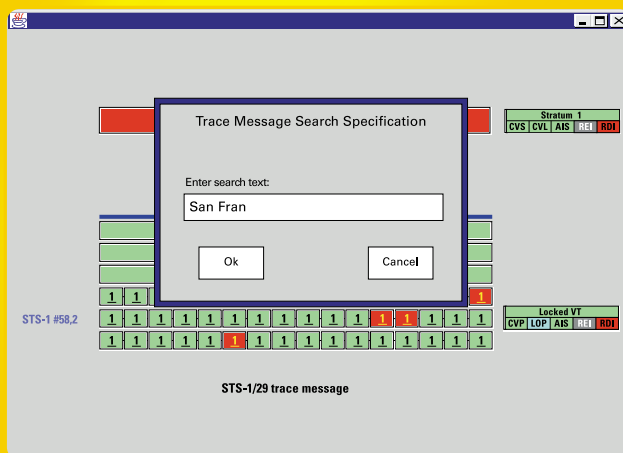
次世代型SONET/SDH伝送プラットフォームの 効率的なテストに不可欠な機能

SignalWizardにより、技術者のテストスピードが向上するため、インストール、試験運用、およびネットワーク運用にかかるコストが削減され、向上したサービス品質を顧客に提供することができます。



エラーおよびアラームのステータスは、検出されたSTS/AUチャンネルごとに表示されます。

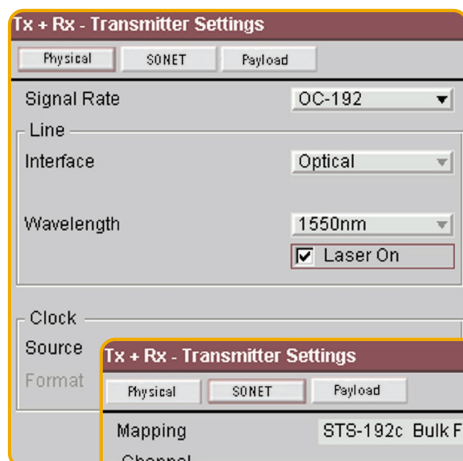
選択したSTS/AUで検出されたすべてのVT/TUチャンネルについて、エラーおよびアラームのステータスが、継続的にモニタされます。



Channel	Size	Trace Message	Signal Label
1,1	STS-48c	San Francisco - NewYork #3	ATM
17,1	STS-12c	San Francisco - Washington #17	HDLC/PPP
21,1	STS-3c	San Francisco - Los Angeles #10	ATM
22,2	STS-1	San Francisco - Phoenix #4	VT
23,1	STS-3c	San Francisco - San Jose #8	ATM
24,1	STS-12c	San Francisco - Chicago #6	HDLC/PPP
28,2	STS-1	San Francisco - Little Rock #1	VT
29,3	STS-1	San Francisco - Minnesota #2	VT
30,1	STS-1	San Francisco - San Jose #2	DS3
32,2	STS-1	San Francisco - Las Vegas #4	VT
34,1	STS-1	San Francisco - Seattle #10	VT
50,3	STS-1	San Francisco - NewYork #20	VT
55,2	STS-1	San Francisco - Denver #5	DS3
63,1	STS-1	San Francisco - Boston #9	DS3
San Francisco - San Jose # 8			

指定のパス・トレース・メッセージを伝送するチャンネルの位置を、速やかに設定します。

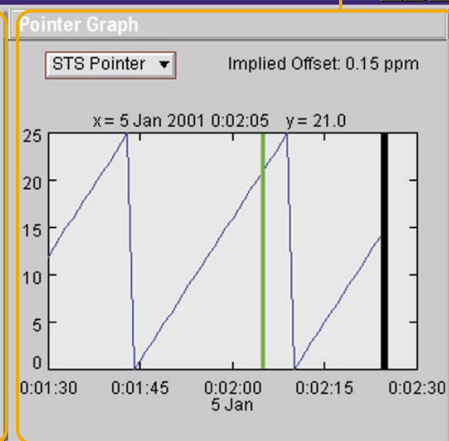
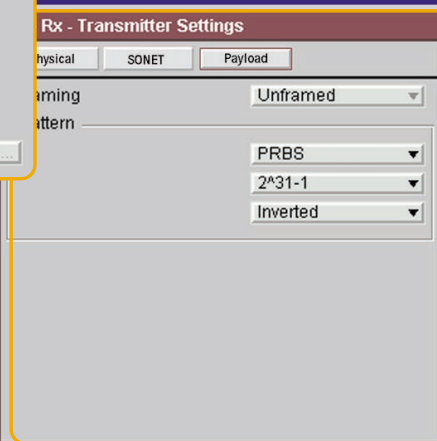
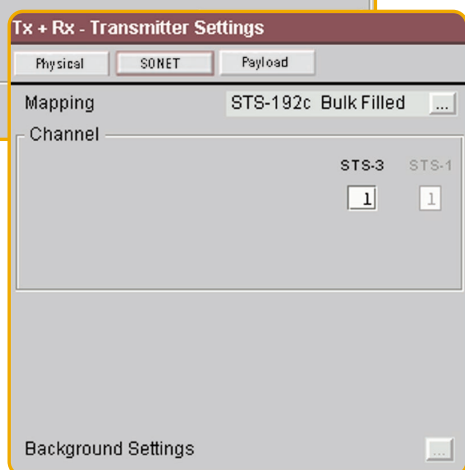
表形式表示のJ1またはJ2パス・トレース・メッセージをすべてクリアします。



画面レイアウトが
すっきりしている
ため、テストの操
作が覚えやすく、
すぐに使用できる
ようになります。

最上部に取り付けたコネク
タに、容易にアクセスでき
ます。

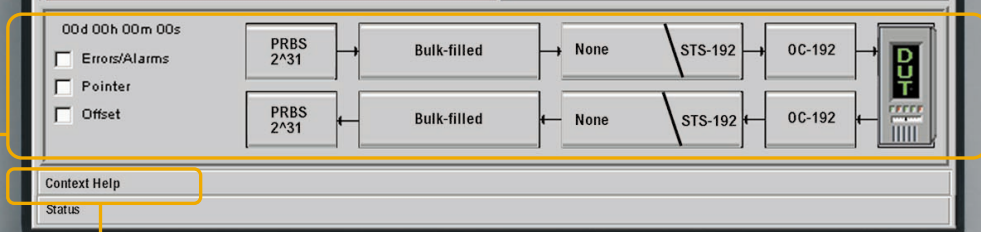
グラフにより、結果の解釈がわかりや
すく表示されます。



フロッピー・ディ
スク・ドライブ
は、サイドに実装
されています。

概要表示により、
設定内容を把握す
ることができます。

操作状況にあわせ
て変化するヘルプ
は、ユーザ・イン
タフェースを通過
する際に、自動的
に表示されます。



1度のキー入力で、より詳細なアラーム情報が表示されます。

明るい2色のLED表示により、ネットワーク・ステータスがひと目でわかります。

Show more

SONET	DSn	PDH
<p>Transport O/H</p> <p>LOS</p> <p>LOF</p> <p>OOF</p> <p>AIS-L</p> <p>K1/K2 Change</p>	<p>Near End</p> <p>STS PATH (NEAR)</p> <p>LOP-P</p> <p>Pointer Act</p> <p>AIS-P</p> <p>UNEQ-P</p> <p>LOM</p> <p>P1/P0</p>	<p>VT PATH (NEAR)</p> <p>LOP-V</p> <p>Pointer Act</p> <p>UNEQ-V</p> <p>AIS-V</p>
<p>Transport O/H</p> <p>RDI-L</p> <p>REI-L</p>	<p>Far End</p> <p>STS PATH (FAR)</p> <p>RFI-P</p> <p>RDI-P</p> <p>RDI-P-S</p> <p>RDI-P-C</p> <p>RDI-P-P</p> <p>REI-P</p>	<p>VT PATH (FAR)</p> <p>RFI-V</p> <p>RDI-V</p> <p>RDI-V-S</p> <p>RDI-V-C</p> <p>RDI-V-P</p> <p>REI-V</p>

強力なテスト・ツールにアクセスします。

ボタンに触れると、総合的なヘルプ・システムが利用できます。ユーザ自身のドキュメントを追加して、利用可能なヘルプを拡張できます。

メニューと矢印移動による簡単な操作

LAN(リモート・コントロール)、RS-232(リモート・コントロール)、USB(プリンタ)、キーボード/マウスは、サイドに実装されています。

パフォーマンスの概要

- ・グローバルなテスト対象 (SONETおよびSDH)
- ・全レートでのテスト・インターフェース
 - ・ 52Mb/sから10Gb/sまでの光
 - ・ 52/155Mb/s、DS1/3、2/8/34/140Mb/sの電気
- ・フル・レンジの標準および連結マッピング
- ・すべての標準エラーおよびアラーム測定、および
 - ・ 光パワー、電気レベル、パルス・マスク、周波数
 - ・ APS時間、ポインタ動作、遅延
- ・ 全チャネルの同時テスト
- ・ グラフィカルな結果表示ツール
- ・ 総合的なオンライン・ヘルプ
- ・ 2年の校正サイクル

テキストおよび数値データを入力するためのキーパッド

現場での使用に適したコンパクトかつ堅牢な設計

製品カタログ

伝送テスト・セットの機能に関するさらに詳細な情報は、製品仕様書(5988-2570EN)、構成ガイド(5988-2571EN)、およびCD-ROM(5988-2763EN)に記載されています。

関連製品

Agilent Technologies OmniBER 718 コミュニケーション・パフォーマンス・アナライザはSDH/SONET ネットワークおよびネットワーク・エレメントの製造、インストール、および保守を行なうための、堅牢でかつ持ち運びが可能なワンボックス式のソリューションです。2.5Gb/sまでの速度で、STM-16c/OC-48cペイロードATM、ジッタ、およびPOSなど、PDH/TキャリアおよびSDH/SONETのすべての機能を提供します。詳細については、5968-8740Jを参照してください。



Agilent Technologiesは、国際規格であるISO 9001およびTickIT(BSI登録証明番号FM 10987)の承認を得た品質システムに基づいて、J2126AおよびJ2127A伝送テスト・セットを製造しています。

Agilent Technologies のテストおよび測定サポート、サービス、支援

Agilent Technologiesは、リスクや問題を最小限に抑えながら、ユーザに最大の利益をもたらすことを目指しています。当社では、ユーザがテストおよび測定機能の恩恵を確実に受け、必要なサポートを得られるように努めています。ご使用のアプリケーションに適したAgilent製品を選択し、それらを正しく適用する上で、充実したサポート資源やサービスをご利用いただけます。販売されているすべての装置やシステムが保証の対象になっています。サポートは、製品の販売完了後も、最低5年間にご利用いただけます。Agilentでは、全体のサポートポリシーとして、「約束」と「利益」という2つのコンセプトを基本としています。

約束

「約束」とは、Agilentのテストおよび測定機器が、宣伝どおりのパフォーマンスと機能性を備えているという意味です。新しい機器を選定される際には、その製品情報をご提供いたします。それには、実際のパフォーマンス仕様や、経験を積んだテストエンジニアによる実用的なアドバイスが含まれます。Agilentの機器をご使用になる場合は、装置が正常に動作しているかどうかを検査し、製品の操作を支援して、特定の機能をご使用になる上で必要となる基本的な測定支援を行ないます。また、数多くのセルフ・ヘルプ・ツールをご使用いただけます。

利益

「利益」とは、Agilentが幅広いエキスパートテストや測定サービスを提供しているため、固有のテクニカル要件やビジネス要件に適した製品を購入していただけるという意味です。設計、システム・インテグレーション、プロジェクト管理、および他のプロフェッショナル・エンジニア・サービスに加えて、校正、別途購入のアップグレード、保証外の修理、現場での教育やトレーニングをお任せいただければ、問題を効率よく解決し、競争上の優位性を得ることができます。世界中の経験を積んだAgilentエンジニアや技術者が、生産性を最大にし、Agilent製の機器やシステムへの投資に対する最大の利益を確保し、製品寿命が続く限り信頼できる正確な測定を行なうことができます。

お問い合わせ先
TEL 0120-421-345 / FAX 0120-421-678 (計測お客様窓口)
<http://www.agilent.co.jp>



Agilent Technologies

アジレント・テクノロジー株式会社

本社 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1

5988-2569J
060103301-NMC